

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
わくわくエジソン堀江教室		2025年 5月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	50%	50%	・教室内は改装出来ない為に、適時椅子、机を片付けスペースを作る	・スタッフの着替えるスペースが欲しい
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		100%		・人員の確保と配置を適切に行う ・スタッフが足りない
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	50%	50%	・玄関口の段差にスロープ。本棚は使う頻度等に合う。	・個室が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・限りある空間の中で遊び場所、学習、お絵かき等の出来る場所を随時、声掛け、毎日の掃除、アイパッドをみたら消毒を行う ・明るくて天井が高い	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		100%		・個別空間を設置する事がスペース的に困難である為、現状スタッフの事務作業場所にてクールダウン等行う ・個別支援のスペースが無い
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	50%	50%	・常に教室会議等や随時の情報共有場面で行う	・スタッフのコミュニケーションが無い
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	50%	50%	・教室会議や随時の情報共有にて行う	・パートに情報が伝わらない
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	50%	50%	・教室会議や随時情報共有にて行う	・インフルエンザのワクチンについて、必要な情報を伝えて欲しいです。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%		・外部評価を行っていないと思われる ・外部評価がどこか知らない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・いつでも補講の機会がある ・勉強会があるので良い。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		・色々な意見を試し、より本人合う支援を見つけて対応する	・ワンパターンになりがち。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		・雑談、遊びのリラックスした状態の、中で情報を得たりプログラム、学習等の分析でニーズを探る ・個別支援計画書は見せてくれるので参考にしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・教室会議にて情報共有と意見を取り入れる	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・状況に応じて応用する	・会議に出ないスタッフは読んでいるかわからない
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		100%	・アセスメントと言う程では無いが支援に入っている情報共有は行う	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・教室会議にて情報共有と意見交換	・課題は残る
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	50%	50%	・教室会議にて情報共有と意見交換	・ワンパターンになりがち

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	50%	50%	・常に新しい情報（SNS等にて）や子ども達の流行りに耳を傾ける	・固定化している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	50%	50%	・スモールステップにて対応	・個別支援はあまりできていない
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		100%	・子ども達が来所前に必要な事あれば行う（毎日必ずというわけではない）	・会話なく就業していることもある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		100%	・毎日必ずというわけではないが、その日の気になった子どもの情報は共有	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	50%	50%	・活動記録を行う	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		・教室会議にて計画変更等話し合う	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	50%	50%	・子ども達の興味あるもの流行りなどを会話から探る	・話題に上らない
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	50%	50%	・プログラム等において選択方式にしたりする事ある	・子供が自己選択すると、遊ぶばかり
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・児発管又は管理者の出席	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			・福祉のスタッフがやたら薬を勧めるのは疑問である
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	50%	50%	・時折、学校での様子の確認（宿題等） ・まめにしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	50%		・情報共有の必要性
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		100%		・スタッフが勉強不足である ・情報共有の必要性あり
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		100%		・機会の必要性
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	・区民祭りに参加	・以前はやっていたが、今はやっていないように思います
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		100%		・参加の必要性
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・送り迎え時に情報の共有	・特定の親に限っているように見える
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		100%		・家族が参加していないように思います ・機会の必要性
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		・契約時に説明、適時説明	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・スモールステップにて保護者様、子どものニーズを踏まえる	・送迎時にしているので、時間が短い
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		・署名をもらう	・返してくれない親もいる
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	50%	50%	・適時時、必要あれば行う	・面談が少ない

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		100%		・機会設置の必要性あり ・親同士の交流はないように思います
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	50%	50%	・苦情があればすぐに対応していると思います	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		・カレンダーの発行、ホームページやインスタにて発信	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・スタンプを押しているか、確認している ・鍵の掛かる棚に収納	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・誤解が生じないように留意している ・電話連絡、留守電、ショートメール	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%		・招待出来る体制が、整っていない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		・プログラムやイベントにおいて行う	・ワンパターンになりがち
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・1年に1回作成更新。防災訓練	・子供がふざけてしまう
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	50%	50%	・教室会議にて情報共有	・予防接種は知らない
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		・教室会議にて情報共有	・指示書を提出しない親もいる
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		・防災、防犯訓練などプログラム等にて	・定期的に確認が必要
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	50%	50%	・緊急一斉ラインメール	・全家族に周知しているか分からない
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	50%	50%	・教室会議にて	・書く人と書かない人がいるのは疑問
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・スタッフ会議	・書く人と書かない人がいるのは疑問
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		・事前に書類を準備する ・必要ある人には同意書も記載	